

“より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアについて考えてみませんか？”

7月21日（月）の午前、長久手市中央図書館で、より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアについて考える場としてワークショップを開催しました。当日は総勢24名にご参加いただき、とても活発なワークショップとなりました！

DAY2テーマ：この場所で、叶えてみたい“ふだん+α”と“すこし未来のわたしの居場所”

1. オープニング&ふりかえり



長久手市の担当者より、オープニングのあいさつ、当日の流れを説明しました。

その後、ニュースレターを見ながら、第1回のふりかえりを行いました。さらに、7/12～7/20の期間に、第1回ワークショップと同様のテーマ（「この場所で過ごす“とっておきの時間”を語ろう」）で、図書館に模造紙を掲示し、利用者の意見を募集した結果を共有しました。主なものとして、文化の家周辺は“イベントが楽しい”、香流川沿いは“桜や自然が豊か”、桧ケ根公園は“遊具がおすすめ”、図書館は“いろいろな本が借りられる”など様々な意見が集まりました。

ふりかえりを踏まえ、第2回では+αの要素について語り合っていたくことを説明しました。

3. グループワーク

第2回では、「この場所で、叶えてみたい“ふだん+α”と“すこし未来のわたしの居場所”」をテーマに、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園を含むエリアで叶えたい過ごし方・やってみたいことなどについて、語り合いました。グループワーク後には、グループごとに発表し、全体で共有しました。

イベント時はNバスを活用して、他のエリアともうまくつながるといいな。また、普段外出されない方も来れるようなイベントが開催されるといい！
季節のいい時には、公園と図書館の交流やエリア内で回遊できる場所があるといいな。

グループA

日常でも非日常でも過ごせるエリアに！

◇イベントがあるとき

- ・図書館で本の交換会/大人も楽しめる絵本を置く
- ・フリーマーケット/野外サイエンス実験場
- ・防災イベントで炊き出しの練習（まちキャンプ）

◇気候の良い日

- ・橋の下の活用（アートイベントなど）/スポーツイベント（バスケット）
- ・テント・イスを置いて自由に交流会
- ・本を公園に持ち出して読書/回遊できる場所

◇非常時

- ・施設の屋根で太陽光発電
- ・市民の避難所となる防災拠点



2. 話題提供 ～アイデアを生み出すヒント～



吉村さん（日本福祉大学教授）より、「自分（たち）で叶えたいアイデア（やってみたい）出しのヒント」として、公共空間を使った様々な活動の事例をスライドで紹介していただきました。駅前空間の活用やアーバンピクニック、移動図書館など、ワクワクする事例がたくさんありました！

東海市の太田川駅前、平日は誰もいない。もったいないと思い、実験的に駅前ピクニックをやってみた。そうすることで、人が出会い、話すきっかけになり、日常風景がずいぶん変わる。



東海市・太田川駅前／駅西大屋根広場



グループB

四季折々の楽しみ方ができる場所に！/動と静の楽しみ方ができる場所に！

◇春

- ・香流川の桜を飲食しながら楽しむ
- ・桧ケ根公園や遊歩道を花を楽しみ、緑に親しむ

◇夏

- ・香流川を高い場所から眺めて楽しむ

◇秋

- ・紅葉の時にバーベキューを楽しむ
- ・お絵描き大会やスタンプラリーを楽しむ

◇冬

- ・香流川のカモを観察して楽しむ
- ・図書館やその周辺でもっと本に親しむ



グループC

自然と交流がうまれる！誰でも気軽にフラッと来れる！

◇晴れの日

- ・図書館 & 文化の家をまたいだ屋外広場でマルシェ
- ・随時読み聞かせ（公園でも文化の家でも）＋おしゃべり交流



◇雨の日

- ・気軽に参加できる講座が定期的に開催している

◇夏&冬

- ・涼しい＆暖かい屋内空間でばーっと過ごせる

◇いつでも

- ・絵本作家と子どもたちで絵本づくり
- ・学生たちが勉強している（どこでも）



キッチンカー、カフェ、マルシェなどが行われ、自然と人が集まってこれば、本の読み聞かせや演奏会などができる。魅力的な屋外空間を文化の家と図書館を中心につくっていったらどうか。図書館と文化の家を結ぶ動線として香流川沿いも活用できるとよい！

いろいろな時間・季節・気候でも過ごせる場所になってほしい。
カフェでゆっくりしたり、踊ったり、合戦したり、、、いろいろな過ごし方が長い時間できるといいな。

グループD

一人でゆっくり、みんなでイベント！静と動のつかい方

◇ゆったりした「静」のつかい方

- ・ハンモックに寝ながら読書
- ・ゆったりソファでうたたね
- ・テラスカフェでゆっくり読書とティータイム

◇エリア全体で運動・イベント「動」のつかい方

- ・人間長久手合戦
- ・図書館通りを歩行者天国にしてみんなでダンス
- ・広い空間でみんなでラジオ体操
- ・室内でもぬいぐるみのかくれんぼ、図書館でお泊り会



グループE

交通の改善・子育て世代が住みやすいエリアに！

◇春

- ・写真撮影イベント
- ・桜ヶ根公園で多世代交流ピクニック
- ・抹茶・生花・押花・写生大会など



◇夏

- ・移動おもちゃ・絵本カー
- ・紙芝居・おはなし会
- ・香流川で魚やザリガニ釣り
- ・水・川・噴水イベント
- ・ハンモックやテントでのんびり

◇秋

- ・屋外でもこども図書館・読み聞かせ・自由に読める場所

◇冬

- ・こども美術館



子育て世代やこども向けのイベントができるといいな。移動式の図書館や読み聞かせ、遊び広場ができたら楽しそう。大人向けにはコーヒーをゆっくり飲める場所になるといいな。このエリアはとても魅力的なので、全ての長久手市民が訪れやすいように、交通を充実させてほしい！

4. まとめ

各グループの発表後、吉村さん（日本福祉大学教授）から、総括をいただきました。



ひとりでも小さいことからやれることはいっぱいあると思います。きっとやりたいと思っている人は周りにもいるはずなので、まずはやってみることで人が集まってくるのではないかと思います。

例えば、図書館でお泊り会したいというアイデアが出ましたが、みんなでテントを持ち寄ってみたり、図書館だけでなく公園や文化の家もつかってみたり、防災キャンプという建付けでやってみたり、、、いろいろと考えられると思います。

いろいろな人がつかうことで、もっとつかいやすくするにはどうしたらいいか、やりながら考えることが大事だと考えています。

【発行】
長久手市都市計画課
【TEL】
0561-56-0622
【E-mail】
keikaku@nagaku
te.aichi.jp